

1.2 空間のベクトル (問題)

1.2.1 $\mathbf{A} = (1, 2, 3)$, $\mathbf{B} = (3, 1, 1)$ であるとき、 $\mathbf{A} + \mathbf{B}$, $\mathbf{A} - \mathbf{B}$, $\mathbf{A} \cdot \mathbf{B}$, \mathbf{A} の \mathbf{B} への射影, \mathbf{B} の \mathbf{A} への射影, $\mathbf{A} \times \mathbf{B}$, $|\mathbf{A} \times \mathbf{B}|$, $\mathbf{e}(\mathbf{A} \times \mathbf{B})$ を求めよ。

1.2.2 適切なベクトル算を用いて、加法定理を証明せよ。

(a) $\cos(\alpha - \beta) = \cos \alpha \cos \beta + \sin \alpha \sin \beta$

(b) $\sin(\alpha - \beta) = \sin \alpha \cos \beta - \cos \alpha \sin \beta$

1.2.3 平行四辺形の2本の対角線は、互いに2等分し合うことを証明せよ。

1.2.4 立方体の角の1つを座標系の原点とし、それに接する3つの辺を x 軸, y 軸, z 軸とする。このとき、原点を通る対角線を4本引くことができる。そのうち3本は(原点を介して隣接する)3つの平面上にある。もう1本は、立方体の中を横切って反対側の角へと通じている。これら対角線同士のなす角度をすべて求めよ。

1.2.5 空間内の点 A, B, C を表す位置ベクトルを $\mathbf{a}, \mathbf{b}, \mathbf{c}$ とするとき、三角形 ABC の面積は $|\mathbf{a} \times \mathbf{b} + \mathbf{b} \times \mathbf{c} + \mathbf{c} \times \mathbf{a}|/2$ で与えられる(例題 1.2.6 を参照)。この三角形を含む平面と原点の間の垂直距離が $\mathbf{a} \cdot (\mathbf{b} \times \mathbf{c}) / |\mathbf{a} \times \mathbf{b} + \mathbf{b} \times \mathbf{c} + \mathbf{c} \times \mathbf{a}|$ であることを証明せよ。

1.2.6 空間内の平面上の任意の点を表す位置ベクトルを \mathbf{r} とし、同じ平面上の、原点に最も近い点を表す位置ベクトルを \mathbf{a} とする。このとき $\mathbf{a} \cdot \mathbf{r} = a^2 = \text{Const.}$ である事を証明せよ。

1.2.7 空間内の定点 A を表す位置ベクトルを \mathbf{a} とし、任意の点を表す位置ベクトルを \mathbf{r} とする。このとき方程式 $|\mathbf{r} - \mathbf{a}| = \text{Const.} = b$ を満足する図形の種類を答えよ。

1.2.8 BAC 則を用いて、ヤコビの恒等式

$$\mathbf{a} \times (\mathbf{b} \times \mathbf{c}) + \mathbf{b} \times (\mathbf{c} \times \mathbf{a}) + \mathbf{c} \times (\mathbf{a} \times \mathbf{b}) = \mathbf{0}$$

を証明せよ。

1.2.9 未知のベクトル \mathbf{X} が次の関係

$$\mathbf{X} \cdot \mathbf{b} = \beta, \quad \mathbf{X} \times \mathbf{b} = \mathbf{c}$$

を満たすとき、 \mathbf{X} を $\beta, \mathbf{b}, \mathbf{c}$ を用いて表せ。(ヒント： \mathbf{X} を、互いに直交する3つのベクトル $\mathbf{b}, \mathbf{c}, \mathbf{b} \times \mathbf{c}$ の方向に分解して、BAC 則を適用する。)

1.2.10 ベクトル \mathbf{D} が、同一平面上にない任意の3つのベクトル $\mathbf{A}, \mathbf{B}, \mathbf{C}$ の線形結合であるとき ($\mathbf{D} = a\mathbf{A} + b\mathbf{B} + c\mathbf{C}$)、

$$a = \frac{\mathbf{D} \cdot (\mathbf{B} \times \mathbf{C})}{\mathbf{A} \cdot (\mathbf{B} \times \mathbf{C})}$$

であることを証明せよ。 b および c についても同様の記述を導け。

1.2.11 任意の3つのベクトル $\mathbf{A}, \mathbf{B}, \mathbf{C}$ が同一平面上に存在するための条件を述べよ。

1.2.12 ベクトル積 $(\mathbf{A} \times \mathbf{B}) \times (\mathbf{C} \times \mathbf{D})$ が、 \mathbf{A} および \mathbf{B} の属する平面と、 \mathbf{C} および \mathbf{D} の属する平面との交線に平行であることを証明せよ。

1.2.13 \mathbf{r} および $\mathbf{v} = d\mathbf{r}/dt$ がともに時間の関数であるとき、次式を証明せよ。

$$\frac{d}{dt} [\mathbf{r} \times (\mathbf{v} \times \mathbf{r})] = r^2 \mathbf{a} + (\mathbf{r} \cdot \mathbf{v}) \mathbf{v} - (v^2 + \mathbf{r} \cdot \mathbf{a}) \mathbf{r}$$

ここで \mathbf{a} は加速度を表す。